



Subaru

ニュース728

'20. 4. 1

男声合唱団

「新型コロナウイルス」の感染予防のため
昂 3月29日のレッスン実施後 4月中の
レッスン中止決定！

3月30日



3月29日(日) レッスンで、「ゆらゆら春」 独唱・奥村さん 1番を熱唱！

□4月に入り、「新型コロナウイルス」の感染拡大の状況が一段と厳しい状況となり、昂の合唱活動も4月から1か月間のレッスンを中止することになりました。

□3月3日から17日までの約2週間、感染状況が予断を許さないということで、昂の活動を一時休止しました。

□3月15日(日)の運営委員会では、5月24日開催予定の「第13回昂コンサート」の開催を含め、今後の昂の合唱活動をどうするか、真剣な討議を行った結果、状況はまだまだ予断を許さないものであるとの判断をベースに、

団長名で、「昂団員並びに関係者の皆様へ」(2020年3月15日)連絡・発表しました。

1. 第13回コンサートについて

5月24日予定の第13回コンサートは中止し、本年10月25日(日)に変更する。
会場は同じクレオ大阪中央。

但し、新型コロナウイルス問題が依然として収束しないと判断される場合は、2021年5月23日頃に再変更する。(再判断期限は6月24日)

2. 鳴のレッスンについて

- 定例レッスン（第1,3,5金曜日、第3,5日曜日）は、3月20日（金）から再開する。
- 各パートレッスン 4月から通常通り再開する。4月3日、7日、14日
- 中村声楽教室 4月から再開する。4月3日13:45 & 4月6日14:30
- 千秋声楽教室 3月19日から再開する。3月19日、4月21日 いずれも18:15
- 強化レッスン 5月に向け設定していた強化レッスン（4月26日、5月10日、5月22日）についてはすべて中止する。
- M-レッスン 新入団員対象の特別レッスンは中止する。

3. 出演依頼に関する変更

4月18日 都島春のつどいについては、中止。

4月11日 レッドページ70周年記念のつどい は予定通り実施されます。

4. うたごえ喫茶

4月29日に予定されていた「うたごえ喫茶」は中止する。

5. 5/24コンサートのチケットの取扱いについて

- ・すでに5/24のコンサートの案内をさし上げている方々に対しては、もれなく中止したことを伝えること。
- ・すでにチケット代金を頂いている方については、10月25日に変更になったことを伝え、返金の要・不要について意向を確認の上、返金が必要な場合には、会計担当まで申し出て手続きを進めること。

6. 練習参加に向けた体調管理について

- ・日常的に外出から帰宅した場合には、石鹼での入念な手洗い、うがいをきちんと行うこと。
- ・規則正しいリズムでの生活に努め、暴飲暴食をせず、十分な睡眠をとること。
- ・ウイルスに対抗する真の力は、薬ではなく、自己の免疫力であることを肝に銘じ、適度な運動や適切な保温に努め、身体を冷やさないこと。

□3月15日の運営委員会の決定を受けて、全く予断を許さない状況にありますが、十分な予防対策と体調管理を行うことを前提に、3月20日(金)から合唱レッスンを再開することになりました。

□引き続き、3月29日(日)も14:00~17:00レッスンを行いました。

29日のレッスンでは、奥村さんの体操のあと、本並先生のヴォイストレーニングに引き続き、4月11日(土)に開催される「レッドページ70周年記念の集い」への演奏依頼に応えて、当日演奏する「ゆらゆら春」「この道」を本並先生の指揮で、15分の休憩（窓を開けての換気）をはさんで、伊藤さんの指揮で、「死んだ男の残したものは」と「朝露」を、引き続き、本並先生の指揮で、「Six Pence」「鳴」の6曲をレッスンしました。（途中再度の換気を行いました。）

ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全17名でした。

□東京オリンピックの1年延期、週末連休の外出自粛・東京集中の自制要請等関東圏の急速な感染の広がりを抑えるべく、新たな感染の進展がみられる中で、大阪でもイベントやコンサート延期や中止、レッスンの当面の短期間の休止等の事態が相次いでいます。

□昂も29日のレッスンを行うにあたっても、役員の総意を伝えるべく、山本副団長から、緊急の連絡を団員に行っていただき、そのうえでのレッスンを行いました。

「昂団員の皆さん

3月29日以降のレッスンについて

コロナウイルス問題が世間を騒がせており、皆さん心配されておられると思います。

個々に問い合わせもありましたので、幾人かの役員のご意見も伺い、当面、以下のように判断しております。

先般、コンサートは延期するが、日常の注意を怠ることなくしたうえで、練習は続けていくことを運営委員会で決定しました。

状況は変わりやすく、注意深く見ていく必要はもちろんあり、大きな変更は運営委員会で改めて決する必要がありますが、

当面のレッスンを続けたいと思います。

4月11日にレッドページ関連の記念イベントが予定されており、出演することになります。

3/29と4/3の練習は、この発表に向けてです。

主催者から、今のところ中止の意向は伝えられておりません。

これに向けて、ピアニストとの練習日程調整もされております。

もちろん、出演そのものが中止になったとすれば、当面のレッスンも中止することになることもあります。

・日々の生活の中で、手洗い・うがいをしっかりとやり、規則正しい食事をとり、十分睡眠をとりましょう。

・もちろん練習時も、頻繁に換気するなど、気をつけて行います。

なお、レッスン参加の場合は、事前に体温を必ず測り、異常がないことを確認したうえでご参加ください。

但し、皆さんを取り囲む状況は、個々人で異なり、様々な事情をお持ちでしょうから、練習への参加については、各人でご判断ください。

ご欠席の場合は、可能な限りご連絡ください。

3月28日 副団長 山本宏司

」

そして、29日のレッスン終了後、30日(月)に、主催者より4月11日の「レッドページイベント」は延期になったとの連絡が昂にありました。(今後の日時は来年1月頃の予定とのことです。)

□ここにきて、再再度、千秋団長・山本副団長連名で、昂の4月中のレッスン中止の「緊急連絡」が全団員に届きました。

団員各位

2020年3月30日(月)

団長 千秋昌弘

副団長 山本宏司

コロナの感染状況が刻々と変化する中で、何度も判断を迫られる場面が続いています。

大阪においても収束の方向に推移しているとはとても思えません。

4月11日のレッドページイベントは中止になりましたが、昨日、定例レッスン等は続けようという雰囲気で解散しております。

しかし団員の皆さんから、いろいろご意見も入ってきており、行きたいけれど不安は払しょくできないし、家族からも行かないように言われ、感染の危険を感じながらでも行くべきか迷っておられます。

さらに、3月29日の練習のように、レッスンを強行しても参加者が極端に少ないという状況であり、全体としての実質的な練習にはならないのが現実です。

そこで、協議の結果以下のように定めました。

- ・昂の定例レッスン、パートレッスン、声楽教室を、当面4月末まで中止します。
 - ・4月26日(日)午後1時から運営委員会を開催し、5月以降の判断を改めて行います。

新たな日程ですが、運営委員の方はお集まりください。

- ・そのため、4月19日(日)に予定されていた運営委員会は中止します。
 - ・4月17日の技術部会は中止します。

以上よろしくお願ひします。

各パートリーダー、マネージャーの方は、メールの届かないメンバーへの周知をよろしくお願いします。

ピアニスト等への周知もよろしくお願ひします。

2020年3月30日

(以上、3月・4月中の鼎のレッスン開催・中止等に関する措置・経過について記録しました。編集子)

＜合唱研究会＞第3回発表会「黎明期のうたごえ そして今」コンサート

4月12日(日)開催予定でしたが、2021年2月21日(日)に延期し開催することとなりました。(門様より連絡がありました。)

(前号の昂ニュース 726 号でお知らせしていました上記コンサートの開催日について、訂正し、連絡いたします。)



感動のロードショー 2020年4月11(土)~4月24日(金) 前売り発売中 1,200円
シニア料金以上 1,100円

第七藝術劇場 (阪急十三駅西口より3分) TEL 06-6302-2073

上映時間は劇場HPにてご確認ください <http://www.nanagei.com> 東淀川区：若園（090-7112-4238）

太田・今九竹 劇場画「佐竹行蔵」十郎・越後守准オペラ・座歌風 TEL 06-4801-7736 / FAX 06-4800-2100

ストーリー 青森の八戸でリストラにあった五味洋介(石黒賢)は妻の夏美(中山忍)と子どもたちを実家に残して静岡の大手自動車メーカーの工場の経営者として働きながら、仕送りを続けていた。洋介は道場社員であったペアラ・技量競技者として職場でも情熱を充実させ、充実した日々を送る会員に家族3人には、とにかく喜ばず将来を不安視する娘がいて、ついで娘の夫の元気な態度に心配される。しかし娘の夫の元気な態度は、一見マジックで頭を痛めた非正規雇用者で、大層面切りながらに頭脳を遺して出でてしまふ。娘は彼を不思応ながら打ちに押し、仲間に一緒に労組組合に入ってくれ立上がりった。だが、洋介や夫、来客の人の顔は全く知らず、会社と連絡が途絶んだ。そんな中、開拓中の岩場で命が奪かれたという知らせを受け、洋介は心配の嵐に吹きこむ……。



問われているのは 労働者的人権！
そして人間の尊厳！

人間の精神を修業するための教科書

大阪で映画を推進する会共同代表ひかけいり	川西 稔子 (NPO法人 映画あさかSUS-NE副代表)
<p>中田 進 (関西労働者教育協会副会長)</p> <p>リマーコンシーユで派遣切り、寮を追い出され寮の下で殴打で負傷した労働者を誰が救くか『年始派遣遭難』。全国から労働組合・ボランティアが駆けつけた正月の闘争は、労働者たちの命を守るために、あらためて「労働組合」の大義を語る間に聞かれていた「映画」『原作田原作』――。手元に残った原稿から無理難題も解消された非正規労働者たちが、「おかしいことはおかしくない」とMIU(当時)に關注。仲間や家族への愛に感動えられた、たんたか感動のドラマが、労働者たちの心を温め、労働者たちの心を温め、労働者たちへ見えていた世界、国政や公私政策への怒りを目の見てほい。</p>	<p>村田 浩治 (弁護士)</p> <p>「非規労働者の権利実現会議出席員局」非正規労働者の裁判は厳しい。とりわけ派遣制度は、雇用する者と使用者に分り共に責任を逃れられるにつなげ派遣の限界を尽くす使用者に勝ったために、正社員よりもはるかに高い高給賃が確立される。これによって労働者がもつべき権利が失われるなど、それでもうちはいつまで、2008年まで正規労働者たちの裁判が開かれた。理不尽を許さざるをかけて闘った労働者の心根が胸に響き震わせている。たくさんの人見てほい。</p> <p>この映画は一人でも多くの非正規労働者たちの命はほしい。会社の門前でのビラ配りで、頭をぶつけられる姿に「そうう！」と思はず言ひくなる。民公・公務を問わず日本全国の使い捨てにされる非正規労働者の共通の叫びだ。腹のからだ空虚でげる人の躰騒動をかけた言葉の一つ一つが胸を打つ。しかし、立ち上がり闘りいつも、不安、迷惑に翻弄される。それらの思いもみんな私たちが生身で経験してきたこと、そしてそれを乗り越えるものとして見てほい。</p>

映画「時の行路」「第十七芭劇場」(十三)で上映予定! (4月11日~4月24日) 1100円 (65歳以上)